

## 【 北区 】 胃がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

|              |      |
|--------------|------|
| 対象年齢（40歳以上）  | している |
| 検査方法（胃部X線検査） | している |

### <住民の検診受診状況>

|                          | 男性     | 女性      | 男女計     |
|--------------------------|--------|---------|---------|
| 該当年齢の人口                  | 92,991 | 101,347 | 194,338 |
| 【東京都調査による対象者率(区部)：60.5%】 |        |         |         |
| 実際の受診者数                  | 1,659  | 2,765   | 4,424   |

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

|            |        |
|------------|--------|
| 対象年齢以外の実施  | 35～39歳 |
| 左記以外の検査の実施 | していない  |

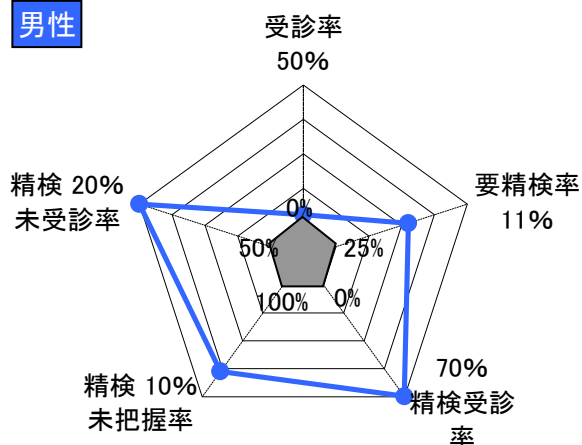
### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している  |
| 個別に受診勧奨         | 一部該当  |
| 過去3年間の受診歴を記録    | している  |
| 精検未受診者への精検受診勧奨  | していない |

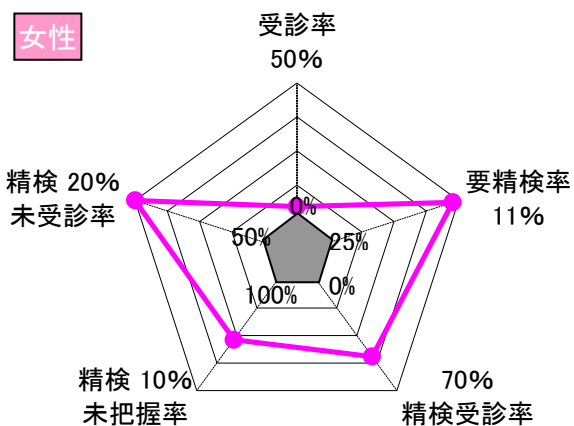
### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

|         | あるべき値<br>(許容値等) | 男性    | 女性    | 男女計   |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率     | 目標値50%          | 2.9%  | 4.5%  | 3.8%  |
| 要精検率    | 11%以下           | 17.3% | 11.6% | 13.8% |
| 精検受診率   | 70%以上           | 69.7% | 48.4% | 58.5% |
| 精検未把握率  | 10%以下           | 30.3% | 51.6% | 41.5% |
| 精検未受診率  | 20%以下           | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%  |
| 陽性反応適中度 | 1.0%以上          | 2.4%  | 0.6%  | 1.5%  |
| がん発見率   | 0.11%以上         | 0.42% | 0.07% | 0.20% |

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

## 【 北区 】 大腸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

|                  |      |
|------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上）      | している |
| 検査方法（便潜血検査(二日法)） | している |

### <住民の検診受診状況>

|                          | 男性     | 女性      | 男女計     |
|--------------------------|--------|---------|---------|
| 該当年齢の人口                  | 92,991 | 101,347 | 194,338 |
| 【東京都調査による対象者率(区部)：66.3%】 |        |         |         |
| 実際の受診者数                  | 2,555  | 4,387   | 6,942   |

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

|            |        |
|------------|--------|
| 対象年齢以外の実施  | 35～39歳 |
| 左記以外の検査の実施 | していない  |

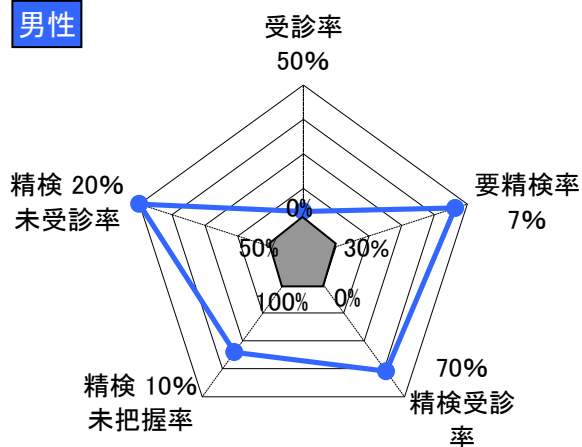
### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

|                 |      |
|-----------------|------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨         | 一部該当 |
| 過去3年間の受診歴を記録    | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨  | している |

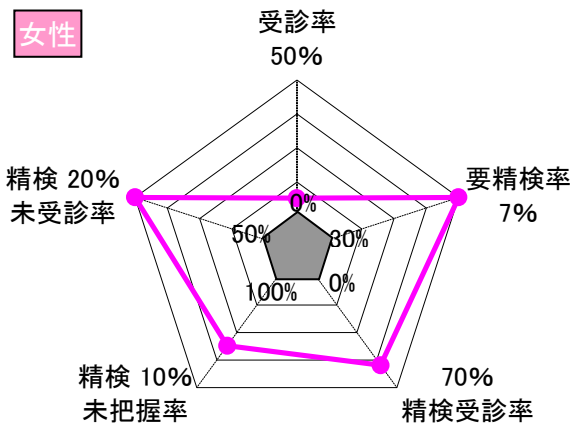
### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

|         | あるべき値<br>(許容値等) | 男性    | 女性    | 男女計   |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率     | 目標値50%          | 4.1%  | 6.5%  | 5.4%  |
| 要精検率    | 7%以下            | 9.1%  | 6.2%  | 7.3%  |
| 精検受診率   | 70%以上           | 54.1% | 55.8% | 55.0% |
| 精検未把握率  | 10%以下           | 45.9% | 44.2% | 45.0% |
| 精検未受診率  | 20%以下           | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%  |
| 陽性反応適中度 | 1.9%以上          | 0.4%  | 1.1%  | 0.8%  |
| がん発見率   | 0.13%以上         | 0.04% | 0.07% | 0.06% |

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

## 【 北区 】 子宮頸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

|                |      |
|----------------|------|
| 対象年齢（20歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（細胞診）      | している |

### <住民の検診受診状況>

|                          | 男性 | 女性      | 男女計 |
|--------------------------|----|---------|-----|
| 該当年齢の人口                  |    | 147,540 |     |
| 【東京都調査による対象者率(区部)：63.7%】 |    |         |     |
| 実際の受診者数                  |    | 8,489   |     |

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

|            |       |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施  | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している  |
| 個別に受診勧奨         | 一部該当  |
| 過去3年間の受診歴を記録    | している  |
| 精検未受診者への精検受診勧奨  | していない |

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

|         | あるべき値<br>(許容値等) | 男性 | 女性    | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率     | 目標値50%          |    | 15.3% |     |
| 要精検率    | 1.4%以下          |    | 3.1%  |     |
| 精検受診率   | 70%以上           |    | 67.6% |     |
| 精検未把握率  | 10%以下           |    | 32.4% |     |
| 精検未受診率  | 20%以下           |    | 0.0%  |     |
| 陽性反応適中度 | 4.0%以上          |    | 1.1%  |     |
| がん発見率   | 0.05%以上         |    | 0.04% |     |

### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

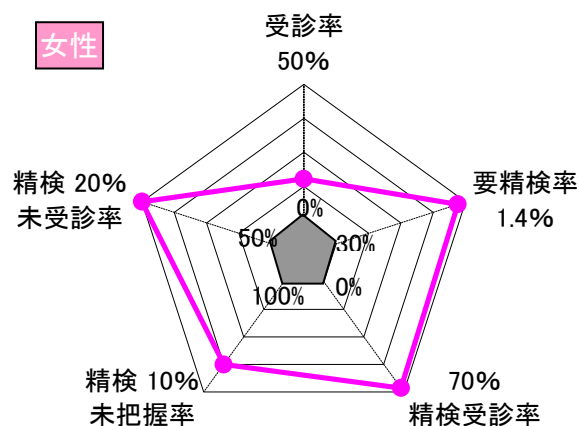
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。



## 【 北区 】 乳がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

|                    |      |
|--------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上：隔年）     | している |
| 検査方法（視触診及びマンモグラフィ） | している |

### <住民の検診受診状況>

|                          | 男性 | 女性      | 男女計 |
|--------------------------|----|---------|-----|
| 該当年齢の人口                  |    | 101,347 |     |
| 【東京都調査による対象者率(区部)：72.3%】 |    |         |     |
| 実際の受診者数                  |    | 6,230   |     |

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

|            |       |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施  | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している  |
| 個別に受診勧奨         | 一部該当  |
| 過去3年間の受診歴を記録    | している  |
| 精検未受診者への精検受診勧奨  | していない |

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

|         | あるべき値<br>(許容値等) | 男性 | 女性    | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率     | 目標値50%          |    | 14.7% |     |
| 要精検率    | 11%以下           |    | 12.2% |     |
| 精検受診率   | 80%以上           |    | 83.0% |     |
| 精検未把握率  | 10%以下           |    | 17.0% |     |
| 精検未受診率  | 10%以下           |    | 0.0%  |     |
| 陽性反応適中度 | 2.5%以上          |    | 1.8%  |     |
| がん発見率   | 0.23%以上         |    | 0.22% |     |

### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

